

# さんま通信



厚生中央病院だより 第37号 2014年

春



## 平成26年4月から田草川医師が『顔面けいれん・三叉神経痛 専門外来』を担当します。

さんま通信 2013年秋号(第35号)にて『顔面けいれん・三叉神経痛』根治治療と専門外来をご紹介しましたが、当院にて顔面けいれん・三叉神経痛の根治手術である微小血管減圧術を行っており、同手術において世界有数の経験数を誇る田草川 豊医師(東京医科大学病院 脳神経外科 臨床講師)が、平成26年4月から『顔面けいれん・三叉神経痛 専門外来』を担当することになりました。

外来から手術まで微小血管減圧術の専門医である田草川医師が一貫して治療を行う体制となりますので、顔面けいれん・三叉神経痛の症状でお困りの方は同専門外来をご受診ください。

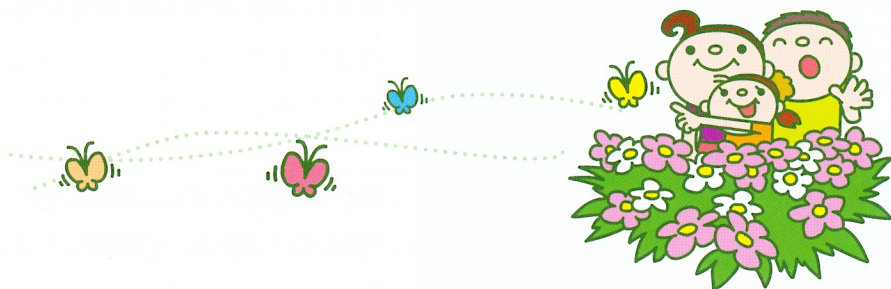
ご予約は下記の予約専用電話にて承っております。

### 『顔面けいれん・三叉神経痛 専門外来』

毎週火曜日 担当 田草川 豊 医師

予約専用電話 03-3716-8124

予約受付時間 平日9時～16時



### 目次 contents

平成26年4月から田草川医師が『顔面けいれん・三叉神経痛 専門外来』を担当します。 ..... 1

狭心症 ..... 2～3

地域健康フェスティバル2014を開催しました ..... 4



目黒で野駆けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る!』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

# 狭心症

---

循環器内科部長

平井 明生

狭心症は心臓の筋肉を養う冠動脈の血流不足により、心臓の筋肉が酸素不足となり、胸に痛みがでる状態です。今回は狭心症の診断と治療についてお知らせしたいと思います。

## 狭心症の症状

---

労作性狭心症と安静時狭心症の二つのタイプがあります。労作性狭心症は急いで歩いた時、階段や坂道の歩行、重いものを持った歩行などの労作時に、胸の中央に絞めつけられるような痛みを感じますが数分でおさまります。また、痛みは胃の付近や左肩、左腕、のど、歯に感じる場合もあります。安静時狭心症は安静時に同様の胸部症状が出現するもので、早朝に多い傾向があります。

## 狭心症の種類

---

**器質性狭心症**：冠動脈の硬化により冠動脈の内腔が狭くなり血流不足を起こす狭心症で、主に労作性狭心症になります。

**冠攣縮性狭心症**：冠動脈壁の痙攣により内腔が狭くなり血流不足を生じる狭心症で、主に安静時狭心症になります。

**微小血管狭心症**：冠動脈の末梢の非常に細い部分で血流不足がおこる狭心症で、女性に多い傾向があります。

## 冠危険因子

---

狭心症に罹りやすくなる疾患や生活習慣を冠危険因子といいます。冠危険因子には糖尿病、高血圧、脂質異常症、高尿酸血症、喫煙などがあります。これらの改善や治療により狭心症の罹患率が減少します。また、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患のかたが御家族のかたの中にいらっしゃるかたも注意が必要です。

## 狭心症の診断

---

自覚症状から狭心症の疑いあるかたには、診断のために次のような検査法があります。

**心電図**：通常的心電図には異常の出ない狭心症もあり、心電図だけでは診断が難しい場合もあります。

**運動負荷心電図**：運動負荷前後の心電図を比較するもので、労作性狭心症では診断に有用です。

**ホルター心電図**：携帯用の心電計で、24時間の心電図をとることができます。安静時狭心症では有効な検査法です。また、不整脈の診断にも有用です。

**負荷心筋シンチグラフィ**：薬剤が心臓の筋肉へ取り込まれる状態をみる検査法で、心臓の筋肉への血流がわかります。労作性狭心症の診断に用います。

**冠動脈CT**：造影剤を用いた断層撮影で冠動脈の形態をみることができます。冠動脈内腔の狭窄や

冠動脈壁の石灰化などが精度よくわかり、労作性狭心症の診断に有用です。写真1は狭心症のかたの冠動脈CTでの左冠動脈の画像です。冠動脈の狭窄と冠動脈壁の石灰化が見られます。

以上の検査は外来で検査が可能なものです。これらの検査で狭心症の可能性が高いかたや、症状が強く早期の治療を要するかたには、冠動脈造影検査を行います。

**冠動脈造影検査：**カテーテルと呼ばれる細い管を用いて冠動脈の中に造影剤を入れて撮影する最も精度の高い検査法です。写真2は冠動脈CTで冠動脈の狭窄を認めたかたの冠動脈造影検査の画像です。冠動脈CTより詳しく冠動脈の狭窄の状態がわかります。

これらの検査法で診断して治療法を決定します。

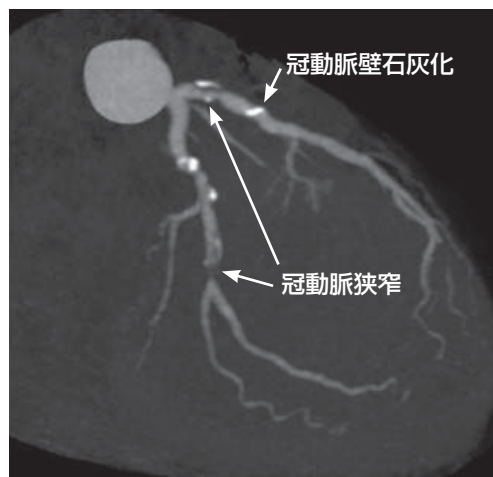
## 狭心症の治療

**薬物療法：**冠動脈を拡張する冠拡張薬、血液の固まり具合を抑える血小板凝集抑制薬を用います。また、冠危険因子の改善は重要で糖尿病、脂質異常症に対し薬物療法を要することがあります。冠攣縮性狭心症や微小血管狭心症のかたには、主にカルシウム拮抗薬などの冠拡張薬を用いて治療します。

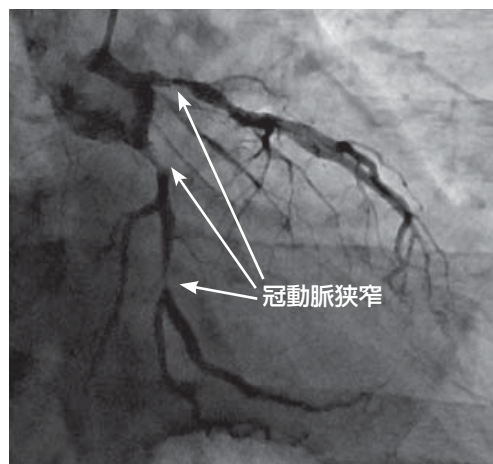
**経皮的冠動脈インターベンション：**経皮的冠動脈形成術とも呼ばれるもので、風船が付いているカテーテルで冠動脈を拡げ、必要により冠動脈ステントというメッシュ状の金属の筒を冠動脈内に留置する治療法です。冠動脈造影検査に引き続いて行うことができます。写真3は冠動脈造影で狭窄病変を認めたかたの冠動脈インターベンション治療後の画像です。冠動脈ステントにより拡張され狭窄病変は消失しました。

現在主に使用されている冠動脈ステントは、再度冠動脈狭窄を起こすことが少なく、以前に比べ格段に改善されたものになっています。

**冠動脈バイパス術：**冠動脈インターベンションが困難な時には、冠動脈バイパス手術による治療法があります。現在は人工心肺を使用しない手術も行われ合併症の少ない治療が可能となっています。



▲写真1



▲写真2



▲写真3

狭心症の診断と治療は最近20年間で長足の進歩を遂げ、完全に治る疾患となりました。労作時や夜間安静時に繰り返し胸部圧迫感を感じるかたは狭心症の可能性が高いものです。症状がある時には専門医療機関の受診をお勧め致します。

## 地域健康フェスティバル2014を開催しました

平成26年2月23日（日）に地域健康フェスティバル2014（目黒区医師会共催、目黒区後援）を開催しました。今回も計測ツアー（血圧・血糖、骨密度、血管年齢・頸動脈エコー）、健康講話、転倒予防体操、なりきりキッズ、健康相談などのコーナーを設け、当日は252名とたくさんの方にお越しいただきました。ありがとうございました。

次回も皆さんの健康の一助となり、また楽しんでいただけるような企画を検討して来年2月に開催させていただく予定です。たくさんの方のお越しをお待ちしています。



●手術室ツアー●



●なりきりキッズ写真館●



●計測ツアー（血圧・血糖測定）●



●AED操作講習●

### 病院の理念

- ・私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
- ・私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
- ・私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。

### 基本方針

「健全な経営と安全で質の高い地域中核病院を創造する」

### 行動目標

- ・私たちは、患者さんから選ばれる病院を創り上げる。
- ・私たちは、効率的で質の高い安全な医療を構築する。
- ・私たちは、安心と誇りを持って働き、一番大切な人を受診させたい病院にする。

### 患者さんの権利

- ・最良の医療を受ける権利
- ・病気について、理解可能な言葉で説明を受ける権利とその説明に対して意見を述べる権利
- ・プライバシーが守られる権利
- ・転院の権利
- ・診療情報の開示を求める権利

### 患者さんの義務

- ・自己の療養に関して病院職員に協力する義務

